

議案別冊

小学校教科用図書及び
特別支援学級教科用図書（一般図書）
調査研究報告書

特別支援学級教科用図書（一般図書）

[illegible]

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5年 7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	国 語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 秋 山 康 則



委員 山 崎 美智子

委員 藤 本 多絵子

委員 安 達 伸 吾

委員 篠 原 諒 伍

委員 千 葉 佑 太

委員 窪 田 大 輝

委員 石 塚 洋 司

委員 目 黒 公 宣

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	国語・書写	学 年	1 ～ 6
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長選出（北見市立三輪小学校 秋山康則校長） ○調査研究内容の確認 ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ・オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/12）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回（7/19）までに、検討確認を踏まえ、調査結果を持ち寄る。 ○ 調査研究等の役割分担 【国語】 千葉委員、藤本委員（教出） 安達委員、千葉委員（光村） 藤本委員、安達委員（東書） 【書写】 窪田委員、篠原委員（教出） 山崎委員、窪田委員（光村） 篠原委員、山崎委員（東書） <第2回調査委員会> ○「国語」について各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容」について 安達委員：各者とも、学習の手引きが設定され、児童が見通しをもって学ぶとともに、学習過程を教師と児童で共有できるように工夫されている。 藤本委員：各者とも、各单元において言葉の力を身に付けるための言語活動が適切に設定され、実生活との関わりを意識しながら学ぶことができるように工夫されている。 千葉委員：各者とも、ことわざや故事成語の意味を調べたり使い方を考えたりする活動を取り上げており、日常生活に必要な知識を身に付けられるように工夫されている。 （2）「構成・排列」について 窪田委員：各者とも、児童の発達の段階を踏まえた指導事項や言語活動を取り扱い、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 石塚委員：各者とも、言葉の力がバランスよく身に付くように各单元が構成され、児童の興味・関心を活かせるよう工夫されている。 （3）「使用上の配慮等」について 目黒委員：各者とも、二次元コードが掲載され、1人1台端末で学習に必要な動画や資料を活用できるように工夫されている。 ○「書写」について各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容」について				

	窪田委員：各者とも、点画の書き方や文字の形に注意して書くことができるように工夫されている。 (2)「構成・排列」について 山崎委員：各者とも、文字の大きさや組み立てを確かめた後に、用紙に合った書き方を考えて書くなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 (3)「使用上の配慮等」について 篠原委員：各者とも、書写で身に付けた力が国語や他教科等、日常生活に生きて働くように工夫されている。 千葉委員：各者とも、二次元コードが掲載され、1人1台端末で運筆動画を活用できるように工夫されている。 ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。 <第3回調査委員会> ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。
少数意見及び参考となる事項	特になし。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい 国語 1 0 9 2 0 9 3 0 9 4 0 9 5 0 9 6 0 9 1 1 0 2 1 0 3 1 0 4 1 0
取扱内容、内容の構成・排列	○〔知識及び技能〕の内容については、例えば第3,4学年では、ことわざや故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりする活動などを取り上げており、日常生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。 ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第3,4学年では、メモを取りながら人の話を聞く活動や、司会や提案者などの役割を意識して話し合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第1,2学年では、乗り物について本で調べて乗り物カードを作る活動や、家でしていることについて友だちにわかりやすい文章を書く活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第5,6学年では、伝記を読んで生き方について考えたことを感想文にまとめる活動や、文章を読んで意見や感想を伝え合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習の流れ」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第5,6学年では、登場人物の気持ちの変化について考えたことを伝え合ったり、複数の文章を関係付けて読み分かったことを整理したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第1学年で、登場人物の設定を考えて物語を書く活動、第2学年で、絵を見て場面のつながりを考えながら物語を書く活動を取り扱うなど、児童の興味・関心を活かせるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第5学年で、意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げる活動、第6学年で、自分の立場を明確にして話し合い、考えを広げる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 第6学年では、相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動を取り上げ、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 第2～6学年において「言葉の力を集めよう」で当該学年で学習する単元と育成したい「言葉の力」を示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、単元導入の動画やアニメーション等を活用できるようにするなど工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 ひろがる言葉小学国語 1 1 1 2 1 1 3 1 1 4 1 1 5 1 1 6 1 1 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「知識及び技能」の内容については、例えば第3,4学年では、故事成語などの意味を調べてカードを作り、相手に紹介する活動などを取り上げており、日常生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。 ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第3,4学年では、調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や、役割に気を付けながら話し合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第1,2学年では、写真を見て想像したことを基に物語を書く活動や、身の回りの生き物について分かったことを基に生き物クイズカードを作る活動を取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第5,6学年では、事例と解説を基に筆者の考えについて読み取る活動や、伝記を読んで生き方について、自分の考えをまとめる活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習のてびき」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第3,4学年では、登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり、大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第1学年で、身の回りの生き物を友達に知らせる文章を書く活動、第2学年で、身の回りで見つけたものを友達に知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、児童の生活経験を活かせるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第5学年で、意図をもって話を聞いたことを基に考えたことをまとめる活動、第6学年で、相手の思いを考えながら聞き、感想を伝え合う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 第4学年では、写真や図表を効果的に使い、読む人の興味を引く図鑑を作る活動を取り上げ、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 全学年において「ひろがる言葉」でどのような内容を学び、どのような言葉の力を身に付けるのかを示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、児童作品例の別バージョン等を活用できるようにするなど工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	光村図書 国語 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3 6 1 3 1 1 4 2 1 4 3 1 4 4 1 4
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「知識及び技能」の内容については、例えば第3,4学年では、短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動などを取り上げており、日常生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになってきている。 ○ 話すこと・聞くことの内容については、例えば第3,4学年では、質問しながら友達の話詳しく聞く活動や、学級全体で話合いの議題を決め、役割を意識して話し合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになってきている。 ○ 書くことの内容については、例えば第1,2学年では、知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や、観察したことを記録する文章を書く活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになってきている。 ○ 読むことの内容については、例えば第5,6学年では、文章の要旨を捉え、考えたことを伝え合う活動や、構成や表現に着目し、作品の世界を想像しながら読む活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになってきている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学習」において学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第1,2学年では、場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり、文章を読んで分かったこと伝え合い、関連する本を選んで読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第1学年で、学校で見つけたものを知らせる文章を書く活動、第2学年で、町の中で見つけたもののよさを知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、児童の生活経験を活かせるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第5学年で、特定の立場に立って意見を述べ合う活動、第6学年で、様々な考え方を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 第4学年では、知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動を取り上げ、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 第2～6学年において「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料等を活用できるようにするなど工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい書写 1 0 6 2 0 6 3 0 6 4 0 6 5 0 6 6 0 6
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、筆順に従って丁寧に書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、書く速さを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、とめ、はね、はらいなどの点画の書き方に気を付けて書いたり、整った文字を書くための書き方を考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意して書くことができるようになっている。 ○ 毛筆については、点画の書き方を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、文字と文字のつながりを考えて書く活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第3,4学年では、点画の種類や書き方、左右の部分の組立て方など、毛筆で学んだことを活かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「見つけよう」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「しよしゃのかぎ」（第2学年）を参考にして整った文字の書き方について考えたり、画の方向や間隔を確かめながら書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。 ○ 内容の構成については、例えば、第4学年では「調べたことを伝える新聞を作ろう」で新聞の例を示し、字形や文字の大きさなど、これまで学習したことを生かして書くための工夫について考えるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、例えば、第6学年では、点画のつながりや書く速さ、文字の組み立てを確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや余白を考えて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ リーフレットや実験記録の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,5学年）、ものの形からできた漢字の話を掲載したり（第1学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 様々な観点から文字文化に触れるコラム「文字といっしょに」を掲載する（全学年）など、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、文字の書き方の動画を活用できるようにする（全学年）など工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学 書写 1 0 7 2 0 7 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、筆順に従って丁寧に書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、書く速さを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、とめ、はね、はらいなどに気を付けて書いたり、どちらの形が整っているかを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意して書くことができるようになっている。 ○ 毛筆については、点画の書き方を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、文字の大きさと配列、点画のつながりを考えて書く活動を通して、毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第3,4学年では、点画の種類や筆使い、左右や上下の文字の組み立て方など、毛筆で学んだことを活かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「めあて」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考える」（第2学年）を参考にして画の方向の違いについて考えたり、左はらいの方向の違いに気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。 ○ 内容の構成については、例えば、第6学年では「校外学習のリーフレット」でリーフレット作成の流れや構成例を示し、用紙全体の大きさを考えて読みやすく書くための工夫について考えるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、文字の組み立て方や大きさなどを確かめた後に、用紙に対する文字の大きさや配列を考えて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 俳句や話合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,6学年）、視写の教材として国語の文学教材を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載する（全学年）など、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、運筆動画を活用できるようにする（全学年）など工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	光村図書 書写 1 0 8 2 0 8 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、筆順に従って丁寧に書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、書く速さを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、とめ、はね、はらいなどの点画の終わりに気を付けて書いたり、整った文字を書くためのきまりを考えたりする活動を通して、点画の書き方や文字の形に注意して書くことができるようになっている。 ○ 毛筆については、点画の書き方を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、文字と文字のつながりを考えて書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第3,4学年では、点画の種類や筆使い、左右や上下の部分の組み立て方など、毛筆で学んだことを活かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「導入・理解」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、整った字の書き方について見付けたり、「たいせつ」（第2学年）を参考にして画の長さ気に気を付けて書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるようになっている。 ○ 内容の構成については、例えば、第6学年では「ポスターを作るときの工夫」でポスターでの文字の大きさや配列を示し、実用的な書式において分かりやすく伝えるための工夫について考えるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、文字の大きさと読みやすさを確かめた後に、文字の配列に注意して、筆記具を使い分けて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 手紙や横書きの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり（第3,4学年）日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり（第1学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」を掲載する（全学年）など、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、筆使いを確かめる動画を活用できるようにする（全学年）など工夫されている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5年 7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	社 会	小委員会
----------------	-----	------

委員長 伊 井 俊 明



委 員 小 中 理 司

委 員 山 谷 大 輔

委 員 鳥 羽 学

委 員 中 嶋 絹 枝

委 員 吉 野 郁 未

委 員 澁 谷 智 史

委 員 工 藤 仁 志

委 員 重 井 睦

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	社 会 地 図	学 年	3 ～ 6 年
調 査 研 究 経 過	＜第1回調査委員会＞ 7月5日 ○小委員会委員長の選出（北見市立北光小学校 伊井俊明） ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/12）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・調査研究の視点をもとに、調査報告書を作成する。 ・第3回（7/19）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 ①社会 教育出版（中嶋委員、澁谷委員） 東京書籍（吉野委員、小中委員） 日本文教出版（鳥羽委員、山谷委員） ②地図 東京書籍、帝国書院（全員で調査研究を行う。） ＜第2回調査委員会＞ 7月12日 ○各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容」について ①「地域社会に関する内容」について ・各者、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げている。 ②「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について ・各者、学習問題を設定し、児童に見通しを持たせるとともに、話し合いを通し、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。 （2）「内容の構成・排列、分量等」について ①「内容の構成」について ・各者、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 （3）「使用上の配慮等」について ①「学習意欲を高める工夫」について ・東京書籍と教育出版は札幌市について、日本文教出版は旭川市の事例を掲載し、児童の学習意欲が高める工夫がされている。 ○調査研究報告書の原案の作成 （1）調査研究の視点をもとに作成した調査報告書について、記述量、文末表現をそろえた。				

	<第3回調査委員会> 7月19日 ○調査研究の概要 (1) 社会 ①「取扱内容」について ・「地域社会に関する内容」については第4学年、「我が国の国土と産業に関する内容」については第5学年、「我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容」については第6学年に絞り調査報告書を作成した。 ・「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、第3学年に絞り、調査報告書を作成した。 ②「内容の構成・排列、分量等」について ・「内容の構成・排列」については、第5学年の内容について調査報告書を作成した。 ・「内容の分量」については、各学年の総ページ数を報告書に記載した。 ③「使用上の配慮等」について ・「使用上の配慮等」については、「児童の学習意欲を高める工夫」と、「児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。 (2) 地図 ①「取扱内容」について ・「身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについて」、「我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについて」、「優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについて」を観点とし調査報告書を作成した。 ・「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について」は、「児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫」や、「児童が社会的事象に自ら着目したり、考えたりできるようにする工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。 ②「内容の構成・排列、分量等」について ・「内容の構成・排列」については、「系統的・発展的に学習できるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。 ・「内容の分量については、総ページ数を報告書に記載した。 ③「使用上の配慮等」について ・「使用上の配慮等」については、「児童の学習意欲を高める工夫」、「児童が主体的に学習に取り組めるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。 ○調査研究報告書の作成 ・調査研究の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。
少数意見及び参考となる事項	特になし。

社会科（社会）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい社会 3 0 5 4 0 5 5 0 5 6 0 5 5 0 6 6 0 6
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、風水害や地震等の自然災害から人々を守る活動について調べたり、文化財や郷土芸能、用水路の開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の生産性や品質を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において、選挙の仕組みや税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり、学習したものと結び付けて日本の世界文化遺産や日本遺産等について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについて自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活において、地形に特色のある地域に住む人々の生活や気候に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 第5学年では、寒い土地のくらしにかかわる学習において、北海道の農業や暮らしの工夫、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について掲載したり、アイヌの人たちの文化について掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見開きページに「まなびのポイント」を設けたり、「見方・考え方」の囲みを設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、総ページ数で、第3学年が142ページ、第4学年が170ページ、第5学年が260ページ、第6学年が280ページとなっている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（社会）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学社会 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や津波、水害等の自然災害から人々を守る活動について調べたり、文化財や伝統芸能、新田開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の安全性や品質を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において地域の子育て支援の取組やその制度の成立過程から我が国の政治の働きについて調べたり、条約改正が達成されるまでの出来事などについて調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活において、気候に特色のある地域に住む人々の生活や地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 第5学年では、寒い土地のくらしにかかわる学習において、北海道の観光や農業、漁業、アイヌの人たちの文化について掲載したり、第6学年では、我が国の政治の働きの学習において、札幌市の雪対策の取組を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 見開きページに「インデックス」を設けたり、巻頭に「学習の進め方」を振り返る視点を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が179ページ、第4学年が225ページ、第5学年が265ページ、第6学年が307ページとなっている。（判型はAB判）
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（社会）調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学社会 308 408 508 608
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、風水害や地震、津波等の自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々のくふう、努力について調べたり、伝統芸能や文化財、用水路の開発等、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の安全性や生産性を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において、待機児童の問題等への取組や税金の働きなど、身近な事例を取り上げ、我が国の政治の働きについて調べたり、第一次世界大戦後の日本の様子や政策、人物や歴史的事象等について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活において、気候に特色のある地域に住む人々の生活や地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げる等、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 第4学年では、地域の発展に尽くした人々にかかわる学習において、日本で最初の女医である荻野吟子が北海道で活躍した事例を掲載したり、第5学年では、寒い土地の暮らしにかかわる学習において、旭川市の農業や観光について掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「社会科の学習の進め方」を設けたり、学習活動に合わせて「学び方・調べ方コーナー」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が174ページ、第4学年が220ページ、第5学年が296ページ、第6学年が296ページとなっている。（判型はAB判）
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（地図）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい地図帳 303
取扱内容、内容の構成・排列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「地図帳の使い方」において、方位磁針を用いて身近な方位を調べたり、地図のきまりを使った地図づくりに取り組んだりする活動 ・「日本の全図」において、日本の東西南北端を調べたり、都市と都市との間の距離を調べたりする活動 ・「日本の地方図」において、本州から九州へ渡る交通路を調べたり、北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動 ・「世界の地図」において、世界で一番高い所と深い所を調べたり、北極海を囲んでいる全ての国を調べたりする活動 ・「資料・統計」において、日本の最大の貿易相手国を読み取ったり、太平洋ベルトにみられる工業地帯や工業地域が海に面している理由を考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがい」など、各種の基礎的な資料を掲載し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫
使用上の配慮等	○ 冒頭の世界地図に、世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり、日本地図に、各都道府県からイメージされるの特産品などのイラストを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターが地図の基本を解説したり、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、地形がわかるドローン動画を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（地図） 調査研究報告書

書名 観点	帝国書院 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 304
取扱内容、内容の構成・排列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられて取いる。 ・「地図帳の使い方」において、縮尺を用いて実際の距離を調べたり、方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組んだりする活動 ・「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動 ・「日本の地方図」において、中国地方で一番高い山の高さを調べたり、沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動 ・「世界の地図」において、本初子午線上に都市記号がある国を調べたり、オーストラリアでたくさん採れる原料品を調べたりする活動 ・「資料・統計」において、日本が世界各地に輸出しているものを読み取ったり、田が広がっているところの地形の特徴を考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がり結び付けることで深い学びを実現できるような工夫
使用上の配慮等	○ 地図の見方を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを掲載したり、世界全図では、世界のあいさつを二次元コードの音声コンテンツと併せて掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「トライ!」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、47都道府県のクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年 7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	算 数	小委員会
----------------	-----	------

委員長 早 川 大 介



委 員 中 原 由紀子

委 員 篠 原 千

委 員 竹 田 克 彦

委 員 東 山 健 史

委 員 森 壮 汰

委 員 鈴 木 寿 弘

委 員 高 橋 雄 太

委 員

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	算 数	学 年	1 ～ 6
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長選出（湧別町立湧別小学校長） ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/12）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回（7/19）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 早川委員、中原委員・・・東京書籍、学校図書 篠原委員、竹田委員・・・教育出版、大日本図書 東山委員、森委員・・・日本文教出版、啓林館 <第2回調査委員会> ○各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容、内容の構成・排列」について 早川委員：各者とも、問題に児童の思考が深められるような工夫がなされている。 鈴木委員：除法の導入において、等分除と包含除のどちらを先に扱うかなど、違いが見られる。 高橋委員：学年によって教科書の大きさを変えたり、開きやすくしたりするなど、配慮が見られる。 （2）「使用上の配慮等」について 鈴木委員：各者とも、UDデザインのフォントを採用したり、二次元コードを掲載しデジタル化に対応したりと、個別に最適な学びに対応できるように工夫している。 （3）「その他」について 高橋委員：各者とも、学習用デジタル教科書の発行を予定している。 ○調査研究の概要 ・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6者について、観点の項目ごとに調査研究を実施した。 <第3回調査委員会> ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。 ・報告書の内容の点検、見直しをした。				
少数意見及び参考となる事項	特になし。				

算数科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい算数 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、絵を見てブロックを動かしたり、残ったどんぐりの数を求めたりする活動を通して、数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、切り取ったパズルの形を仲間分けしたり、身の回りから長方形や正方形を見つけたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴をとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、電池とコンパスの重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、二つの時計板の時刻の関係を式に表したり、正三角形を並べてできた図形の正三角形の数と周りの長さの関係を表に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、好きな給食のメニューの割合をグラフに表したり、二つのグラフを比べて分かることを考えたりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ、考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えを図や式を使ってかいたり、考えの相違点について話し合い、まとめたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法、除法の学習において、分数と整数の計算の仕方を考える学習の後に、分数と分数の計算を扱うことで、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、発展的な視点で示したり、「ますりん通信」で、多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 吹き出しで、児童の学びの姿を例示したり、日常生活と学習場面を関連付けることで、学習することの意義や学習内容の有用性を実感できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 視認性の高いUD教科書体を使用したり、カラーユニバーサルデザイン、余白を生かした紙面デザインを徹底したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

算数科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 新版 たのしい算数 1 1 4 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4 1 1 5
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、水槽に入れる魚の数を数えたり、水槽に残った魚の数を求めたりする活動を通して、数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、三角形や四角形と言える訳を説明したり、身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動を通して、平面図形の特徴に着目してとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、文房具の重さを比べたり、大豆の重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、点と点を結んで作った長方形の縦と横の長さの関係を表に表したり、水槽の水の量の変わり方をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、好きな給食の割合をグラフに表したり、作り変えたグラフの工夫点を考えたりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、図や式、言葉を使って考えを筋道立てていかしたり、考えの共通点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法、除法の学習において、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味を考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 単元の導入コーナーで、問題や疑問を見いだす題材を扱ったり、「ふくろう先生のなるほど算数教室」で、算数を生かして仕事をする方へのインタビューを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 学習したことを生活に生かそうとする様子や発展的に問題を見いだす題材を掲載したり、毎時の導入で、問題や疑問を見いだせる題材を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ UDフォントを使用したり、情報が読み取れる配色を用いたりするとともに二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

算数科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ 小学校 算数 1 1 6 2 1 6 3 1 6 4 1 6 5 1 6 6 1 6 1 1 7 2 1 7 3 1 7 4 1 7 5 1 7 6 1 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、小鳥の数を数えたり、駐車に残った車の台数を求めたりする活動を通して、数の概念と表し方や計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、身の回りから直角のかどを探したりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴をとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、文房具の重さを比べたり、はかりを使って重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、周りの長さが一定の場合の長方形の縦の長さや横の長さの関係を表に表したり、浴槽に水を入れた時間とたまった水の量の関係を調べたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、好きなスポーツをグラフにしたり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ、考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、異種の二つの量の割合の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、速さの意味を考えたり、速さを比べる方法について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、角柱及び円柱の体積の学習において、角柱の体積の求め方の学習の後に、いろいろな立体の体積を求める学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 「考え方モンスター」を紙面に具現化することで、「見方・考え方」を使った思考を促し、「算数をつかって」でSDGsに関連した題材に取り組むことができるようにするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 日常の中から問題を発見できるよう「？を発見」を設定したり、関心・意欲を高め、真理を求める態度を育成できるよう「つながりの？」を設定したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ UDフォントを使用したり、二次元コードに5つのマークをつけて内容が分かるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習用デジタル教科書の発行が予定されている。

算数科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学算数 1 1 8 2 1 8 3 1 8 4 1 8 5 1 8 6 1 8 2 1 9 3 1 9 4 1 9
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、葉の枚数を数えたり、残ったまっぼっくりの数の求め方を考えたりする活動を通して、数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動を通して、図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴をとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、スポンジと電池の重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、ひもで作った長方形の横の長さや縦の長さの関係を表に表したり、おかしの数と代金の関係を式に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、ブルーベリーの収穫量の割合をグラフに表したり、表やグラフから考察したりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ、考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、異種の二つの量の割合の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、混み具合を比べる方法を考えたり、考えの相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法、除法の学習において、分数×整数の計算の仕方を考える学習の後に、分数÷整数の計算の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 目的意識をもって取り組める教材や活動を示す「きっかけ」ページを設けたり、各単元の終わりに、学習したことを使って取り組む活動を示すページを設けたりするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 単元末で、学習したことを日常場面に活用し「何ができるようになったか」を実感できるようにするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ UDデジタル教科書体を使用したり、図版に色名を付記したりするとともに、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

算数科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく 算数 1 2 0 2 2 0 3 2 0 4 2 0 5 2 0 6 2 0 1 2 1 2 2 1 3 2 1 4 2 1
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、かえるの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、身の回りから三角形や四角形を見つけたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴をとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、文房具の重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、ストローで作った長方形の縦の本数と横の本数の関係を表に表したり、水のかさと重さをグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、作物別産出額をグラフに表したり、表やグラフから分かることを考えたりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ考察したりする力を育成できている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の方法を考えたり、考えのよいところや共通しているところについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、割合を表す分数について理解を深める学習の後に、全体を1として割合を考えるという見方・考え方を働かせる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 「学びをいかそう」で算数を学ぶ意義を感じられる題材を取り扱ったり、「わくわくSDGs」で答えが1つに定まらない問いを取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 児童から「めあて」が引き出せるよう、「問いや気付き」を「めばえ」として掲載したり、「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」を設定したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ UDフォントや学びやすい配色を用いるとともに、二次元コードを掲載し、具体物の操作が簡単に行えるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

算数科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学算数 1 2 2 2 2 2 3 2 2 4 2 2 5 2 2 6 2 2 1 2 3 2 2 3 3 2 3 4 2 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と計算については、例えば、第1学年では、まつぼっくりの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、数の概念とその表し方及び計算の意味を理解するとともに、数の数え方や計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。 ○ 図形については、例えば、第2学年では、動物たちを囲んだ形を仲間分けしたり、身の回りから長方形や正方形などを見つけたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴をとらえたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 測定については、例えば、第3学年では、ものの重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念について理解するとともに、身の回りにあるものの特徴を量に着目してとらえ、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。 ○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、点と点で結んで作った長方形の縦の長さや横の長さの関係を表に表したり、長椅子の数と座れる人数の関係を式で表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。 ○ データの活用については、例えば、第5学年では、種類別の本の数をグラフに表したり、目的に応じて表やグラフを選択したりする活動を通して、帯グラフを理解するとともに、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的にとらえ考察したりする力を育成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、立体図形の体積の学習において、考えを図や式、言葉を使っていかたり、考えの共通点や相違点、これまで学習したこととの類似点などについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の学習において倍を表す分数の学習の後に、整数、小数、分数による倍の表し方の共通点を考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 単元アプローチとして、学習の課題を自ら見つけられるようにしたり、「なるほど算数」で算数に関する豆知識的なコラムを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 「算数マイトライ」で様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり、「使ってみよう」で学習を実際の場面に活用する活動の充実を図ったりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ UDフォントや目に優しい色を使用するとともに、自分で操作できるコンテンツで理解を深めるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5年 7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	理科	小委員会
----------------	----	------

委員長 小路谷 勝 巳



委員 米 谷 研 郎

委員 今 野 裕 章

委員 渡 辺 翔 太

委員 佐 野 正 樹

委員 小 路 典 弘

委員 伊 谷 美 香

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	理 科	学 年	3 ～ 6 学年
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> (13:30～16:00) ○小委員会委員長の選出 (網走市立西が丘小学校 小路谷勝巳校長) ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ①第2回(7・12)までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、第2回の資料作成に備える。 ○調査研究等の役割分担 小路谷委員長 (東京書籍、啓林館) 米谷 委員 (大日本図書、東京書籍) 今野 委員 (教育出版、大日本図書) 渡辺 委員 (学校図書、教育出版) 佐野 委員 (啓林館、学校図書) <第2回調査委員会> (10:00～16:00) ○ 調査報告書の作成について 内容を比較する際には、同学年、同単元を読み比べる。 ○ 構成・排列 ・各者「問題」「予想」「計画」「実験」「結果」「考察」「結論」という問題解決の学習の過程がわかりやすく作られている。 ・単元導入では、興味・関心を高め、主体的に取り組めるよう、身の回りの減少や日常生活を事例に設定している。 ・各者、覚えるべき単語を目につきやすくしたり、写真を多くしたりフォントを工夫したりしている。 <第3回調査委員会> (10:00～16:00) ○現代的課題などの取り上げ方について確認 ① 実験・観察時の安全性について 小路谷委員：各者、実験・観察の際の安全や理科室での正しい学習の仕方などについて取り上げている。 米谷委員：各単元、実験ごとに注意喚起を促すため、正しい用具や薬品の扱い方などについて、囲みを用いて強調している。 ② SDGsの取り上げ方 渡辺委員：各者、巻頭や巻末、単元ごとにコラムで取り上げている。 伊谷委員：環境の変化を自分の生活とつなげて考えられるようにしてあるのではないかな。 ③防災・減災の取り上げ方				

	今野委員：各者、自分の生活と関連付けた作りになっている。 小路谷委員：各者、単元によって自然災害について触れ、防災・減災など日常生活とのつながりを意識した構成となっている。 ③ 日常生活との関連 佐野委員：各者、日常生活と学習内容を関連付け、理科の面白さや有用性を感じられるように紹介している。 小路委員：日常生活とのつながりを意識して学習できるようになっている。 ○調査研究の概要 ・調査資料の確認 ・調査研究方法の確認 ・調査研究報告書の記述容量の確認 ・調査研究報告書の協議 ・調査研究報告書の完成 ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述し、報告書を作成した。
少数意見及び参考となる事項	特になし

理科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい理科 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 物質・エネルギーについては、粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験やソーラークッカーを作るものづくりなどの活動（第3学年）、閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験や電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動（第4学年）、コーヒースーガーなどを溶かした後の様子を調べる実験や電磁石を利用した缶拾い機を作るものづくりなどの活動（第5学年）、集気びんの上下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験や人感センサーを利用した電気自動車を作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 生命・地球については、ピーマンなどを栽培し育ち方を調べる観察や日なたと日陰の地面の温度を放射温度計などで調べる観察などの活動（第3学年）、物を持ち上げたときの体の様子を調べる観察や昼間に見える月の位置の変化を調べる観察などの活動（第4学年）、アサガオとヘチマの花のつくりを調べる観察や水量を変え流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、手首や足首、心臓の脈拍を調べる実験やボールに光を当て月の見え方を調べる実験などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、調べ、話し合い、考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。例えば、「電流のはたらき」において、乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎと並列つなぎの電流の大きさについて話し合う活動、「てこのはたらきとしくみ」において、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、実験結果のデータを基にきまりについて話し合う活動などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「太陽の光」では、光の性質についての学習の後に、太陽熱発電に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫、「流れる水のはたらき」では、流れる水の働きと土地の変化の学習後に、上西郷川に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「理科の世界」において、働く人のインタビュー形式のコラムを掲載し、理科を学ぶ意義を実感できるように（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 新版 たのしい理科 308 408 508 608
取扱内容、内容の構成・排列	○ 物質・エネルギーについては、粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験やゴムと風で動く車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験や強弱スイッチ付き送風機を作るものづくりなどの活動（第4学年）、コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験や電磁石の性質を利用した魚釣りゲームを作るものづくりなどの活動（第5学年）、集気びんにふたがあるときとないときのろうそくの燃え方を調べる実験やモバイルやさおばかりを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して目標を達成できるようになっている。 ○ 生命・地球については、ハウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察や日なたと日陰の地面の温度を放射温度計などで調べる観察などの活動（第3学年）、体全体の筋肉の様子を調べる観察や半月や満月の位置の変化を調べる観察などの活動（第4学年）、アサガオの花のつくりを調べる観察や流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、胸、手首や首筋の脈拍を調べる実験や月の形の見え方が日によって変わる理由を調べる実験などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、調べて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。例えば、「雨水のゆくえ」において、水はどのような場所に流れていくのかについて調べ、水が流れ始める場所と水が溜まっている場所について話し合う活動、「私たちの生活と電気」において、豆電球と発光ダイオードで使う電気の量にどのような違いがあるのかについて調べ、明かりがついていた時間について話し合う活動などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「太陽の光」で、光の性質についての学習の後に、光の反射に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫、「天気の変化」では、天気と雲の様子学習の後に、季節によって変わる天気の変化に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「りかのたまてばこ」において、科学技術との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるように（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を8段階で示し学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末においてできるようになったことなどの振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ 小学校 理科 3 0 9 4 0 9 5 0 9 6 0 9
取扱内容、内容の構成・排列	○ 物質・エネルギーについては、粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験や磁石で動くパッキンへびを作るものづくりなどの活動（第3学年）、石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験や乾電池で走る車を作るものづくりなどの活動（第4学年）、コーヒースーガーを溶かした後の様子について調べる実験や電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動（第5学年）、底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験や風車を利用した風力発電機を作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 生命・地球については、ハウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察や日なたと日陰の地面の温度を温度計で調べる観察などの活動（第3学年）、腕を曲げたときの筋肉の様子を調べる観察や朝に見える半月の位置の変化を調べる観察などの活動（第4学年）、ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる観察や傾きを変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、手首やその他の脈拍を調べる観察や月の形が変わって見える理由を調べる観察などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、調べ、話し合い、考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。例えば、「雨水の流れ」において、水のしみこみ方と土の粒の大きさの関係について調べ、粒が小さい土と大きい土を比べながら水のしみこみ方について話し合う活動、「てこのしくみとはたらき」において、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、支点からの距離とおもりの重さの関係について話し合う活動などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「光を調べよう」では、光の性質についての学習の後に、光の反射に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫、「冬から春へ」では、天気と雲の様子についての学習の後に、日本海側と太平洋側の天気の違いに関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「もっとしりたい」において、暮らしや仕事との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるように（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程をチェックして学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習の前後の変容を確かめるよう振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 未来をひらく 小学校理科 3 1 0 4 1 0 5 1 0 6 1 0
取扱内容、内容の構成・排列	○ 物質・エネルギーについては、粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験やほかけ車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、ペットボトルに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験や電気で走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動（第4学年）、コーヒースシュガーを溶かした後の様子について調べる実験や電磁石の性質を利用した電池チェッカーを作るものづくりなどの活動（第5学年）、底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験や夜になると光るライトを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 生命・地球については、ハウセンカなどを栽培し育ち方を調べる観察や日なたと日陰の地面の温度を温度計などで調べる観察などの活動（第3学年）、腕や脚を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や午後の半月の位置の変化を調べる観察などの活動（第4学年）、ヘチマなどの花のつくりを調べる観察や水量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、心臓の動きと手首の脈拍を比べる活動や月の光っている側に常に太陽がある理由を調べる観察などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、問題を見いだし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、調べ、話し合い、考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。例えば、「電流のはたらき」において、乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合う活動、「電気の利用」において、手回し発電機や光電池を使って、電気をつくることができるのかについて調べ、電気をつくる方法について話し合う活動などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「音」では、物の震え方に着目した音の性質についての学習の後に、超音波に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫、「もののとけ方」では、物の溶け方についての学習の後に、海水のろ過に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「科学のまど」において、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感できるように（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を線をつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく理科 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2
取扱内容、内容の構成・排列	○ 物質・エネルギーについては、粘土や画用紙の形を変えて重さを調べる実験やクモのす糸電話を作るものづくりなどの活動（第3学年）、丸底フラスコに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験やひとりで回る風車を作るものづくりなどの活動（第4学年）、コーヒーシュガーが溶けていく様子について調べる実験や電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動（第5学年）、集気びんの上や下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験やでんぶんやさおばかりを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 生命・地球については、ハウセンカなどを栽培し育ち方を調べる観察や日なたと日陰の地面の温度を温度計などで調べる観察などの活動（第3学年）、体を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や昼間の半月の位置を調べる観察などの活動（第4学年）、ヘチマ、アサガオなどの花のつくりを調べる観察や曲がって流れる水の外側と内側の様子を調べる実験などの活動（第5学年）、胸、手首や首の脈拍を調べる活動や月の形が変わって見えることを調べる実験などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、調べて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「電気のはたらき」において、乾電池の数やつなぎ方と電流の大きさの関係について調べ、モーターの回転する速さは電流の大きさに関係していることを話し合う活動、「てこのはたらき」において、てこを利用した道具はどのような仕組みになっているのかについて調べ、作用点で働く力の大きさについて話し合う活動などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「光のせいしつ」では、光の性質の学習の後に、日光の進み方に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫、「雲と天気の変化」では、天気と雲の様子学習の後に、季節によって変わる天気の変化に関する系統的・発展的な学習が進められるような単元構成の工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「くらしとリンク」において、身近な生活との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるように（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を線でつなぎ学習の見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習の振り返りとして新しく学習した言葉を掲載したり（全学年）するなど主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

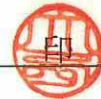
第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	生 活	小委員会
----------------	-----	------

委員長 大 西 篤



委員 中 尾 隼 人

委員 牧 野 喜 充

委員 山 本 千 聖

委員 佐 藤 健 司

委員 河 邊 珠 里

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	生 活	学 年	1 ～ 2 学年
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出 委員長 大空町立東藻琴小学校 大西 篤 校長 ○調査研究内容の確認 ・「教科書採択参考資料」の調査研究の観点に基づき、研究内容・方法を確認 ・調査研究報告書の様式、記載内容についての確認 ○今後の調査研究日程の確認 ・全社の教科用図書を各自で調査研究し、第2回（7/12）小委員会において調査結果を報告する ・第3回（7/19）に調査研究報告書を最終確認する ○調査研究等の役割分担 ・全委員が全6者の調査研究を行う ・調査研究報告書作成の主担当 中尾委員（教出、啓林館） 山本委員（東書、大日本） 河邊委員（光村、学図） <第2回調査委員会> ○調査研究の結果を報告 ・各委員から各発行者の取扱内容、内容の構成、使用上の配慮等について報告 ○共通の取扱内容等について確認 ・教科書の判型はA B 版2者、A 4 版4者 ・配色や書体にユニバーサルデザインを採用している ・体験的な学びを補助する資料が巻頭や巻末に掲載されている ・一人一台端末を用いて画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるように、二次元コードを掲載している ・雪や氷を用いた遊びを取り扱っている。北海道とかかわりのある写真資料については、4者が取り扱っている ○調査研究の報告をもとに協議し、報告書を作成 <第3回調査委員会> ○調査研究内容の報告と研究協議 ・報告様式に沿った記載内容について最終確認 ・少数意見の確認（特記事項なし） ○調査研究報告書の作成 ・最終的な調査研究報告書の内容について全委員で確認 ・調査研究報告書の提出				
少数意見及び参考となる事項	特になし				

生活科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい生活 下 1 1 7 1 1 8
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけたことを他者に伝えたり、町の施設や人を調べ、伝えたりする活動などを取り上げており、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかかわる活動に関する内容」については、花を育てて図鑑にまとめたり、動くおもちゃを製作したりする活動などを取り上げており、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分でできることをしたり、2年間の成長をまとめたりする活動などを取り上げており、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、上下巻を通じて成長する登場人物や、「かつどうべんりてちょう」を掲載し、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、「つながる ひろがる」を設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆをたのしもう」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の 配慮等	○ 活動写真を掲載したり（全学年）、伝承遊びや草花遊び、伝統行事を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 単元の扉ページに写真と吹き出しを用いて児童のつぶやきを掲載したり（全学年）、多様な表現方法の例を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 児童が読みやすい字形や文字の大きさ、配色等の配慮をする（全学年）とともに、二次元コードを掲載し、画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

生活科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ 1 1 9 1 2 0
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけたことを伝えたり、町のよさや働く人について調べ、伝えたりする活動を取り上げており、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかかわる活動に関する内容」については、花などを育てて観察日記にまとめたり、楽しいおもちゃを製作したりする活動を取り上げており、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、家族が笑顔になることをしたり、成長をまとめたりする活動を取り上げており、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、自分の成長したことを実感できる書き込み欄や「がくしゅうどうぐばこ」を掲載し、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、合科的・関連的指導が効果的な箇所にマークを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆだいすき」では、「ゆきやこおりでみんなとあそぶのだいすき」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の 配慮等	○ 躍動感のある写真を掲載したり（全学年）、昔遊びや地域、日本の行事を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 児童の思いや願いを挿絵や吹き出しで掲載したり（全学年）、活動の視点を示唆するビンゴカードを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）配色に配慮したり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

生活科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下 1 2 1 1 2 2
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけたことをカードに表したり、町で働いている人を調べ、伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっていく。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかわる活動に関する内容」については、花を育て、日記にまとめたり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっていく。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、家の仕事をしてみたり、自分の成長を調べて伝えたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにすることができるようになっていく。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、キャラクターによる単元のストーリーや「学び方図かん」を掲載し活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動や「見付ける」、「比べる」、「たとえる」などの学習活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、中学年への期待を高めるページを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆをたのしもう」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の 配慮等	○ 児童の活動の写真を掲載したり（全学年）、身近な素材や教具を取り上げたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 単元の導入で自分の思いや願いをもたせる言葉を掲載したり（全学年）、単元の終末に「もっと○○したい」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさ、判別しやすい色づかいに（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、資料や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

生活科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ 1 2 3 1 2 4
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけたことを伝えたり、町探検で見つけたことを地図にまとめたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかわる活動に関する内容」については、花を育てて観察したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、家の仕事をしたり、2年間の自分の成長をカードにまとめたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「わくわくスイッチ」、「はっけんロード」と「はてな」、「ぐんぐんはしご」で単元を段階的に構成して、「ひんと」を活用して多様な学習活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、「はってん」コラムと特設ページを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、「きせつとなかよしふゆ」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の 配慮等	○ 単元導入で動機付けしたり（全学年）、日本各地の行事等の資料を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 小単元「サイコロ」で、「めあて」を掲載したり（全学年）、単元末に「なにをかんじたかな」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさ、読み取りやすい色に配慮（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、動画やデジタル図鑑などのコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

生活科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき 1 2 7 1 2 8
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校を探検して見つけたことを伝えたり、町の施設やお店を調べ、伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかかわる活動に関する内容」については、花を育てて観察したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、家族が笑顔になることをしたり、自分の成長をまとめたりする活動を通し自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにすることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元の内容を「導入」、「展開」、「振り返り」で構成して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動や「ひろがる せいかつじてん」を活用して多様な学習活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、中学年への期待を高めるコーナーを設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、「ふゆとともだち」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の配慮等	○ 楽しさなどが伝わる写真を掲載したり（全学年）、伝統・文化や行事などを紹介したり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 単元扉に学習対象と児童の写真、問いかけを位置付けたり（全学年）、小単元に「ふりかえろう」を位置付けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさや、専門家の校閲を受けた色使いに（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、画像や動画のコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

生活科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下 1 2 9 1 3 0
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけた人やもののことを伝えたり、町の施設や人を調べ、伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。 ○ 「身近な人々、社会及び自然とかわる活動に関する内容」については、花を育てて観察したり、おもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくすることができるようになっている。 ○ 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分でできることに挑戦したり、自分の成長をまとめ、伝えたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元を「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階で構成して、学びのキーワードを活用し、「見つける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」など多様な学習活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、「3年生へのステップブック」の資料単元を設け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、「ふゆとなかよし」では、「ゆきやこおりであそぼう」として北海道の季節に合わせた内容が取り扱われている。
使用上の 配慮等	○ 単元導入で動機付けしたり（全学年）、児童が親しみやすい学習活動を取り上げたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高まるように工夫されている。 ○ 「できるかな できたかな？」コーナーを掲載したり（全学年）、次の活動に向けた「めくり言葉」を位置付けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさ、読み取りやすい色に配慮（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、動画やデジタル図鑑などのコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	音 楽	小委員会
----------------	-----	------

委員長 平 野 真 奈 美



委 員 古 川 幸 宏

委 員 渡 辺 岳 男

委 員 生 和 奈 央 子

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	音 楽	学 年	1 ～ 6 学 年
	＜第1回調査委員会＞ ○小委員会委員長の選出（網走市南小学校 平野愛美校長） ○調査研究内容の確認 ○今後の調査研究日程の確認 第2回（7/12）からの方向性の確認 ＜第2回調査委員会＞ ○全学年の記載内容や特徴について比較と意見交流 ○各教科書の構成から伺える指導のねらいについて考察と意見交流 ○児童・教員それぞれの立場からの使用感について考察と意見交流 ＜第3回調査委員会＞ ○第2回の意見交流を基に調査研究報告書を作成 ○調査研究報告書内容の確認 ○調査研究の概要 渡辺調査委員 鑑賞・器楽・音楽づくりなどがうまく組まれて教材が配置されていてそれぞれを生かして指導しやすい。 古川調査委員 器楽では体験させながら楽しく学習できるように配列が工夫されており音楽表現がスムーズに身に付くようになっている。 生和調査委員 歌唱指導が丁寧に表記されており、教科横断的な配慮も見られる。				
少数意見及び参考となる事項	特になし				

音楽科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学音楽 音楽のおくりもの 103 203 303 403 503 603
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歌唱の第5・6学年については、表現を工夫して聴き合いながら歌い合わせたり、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫したりして学び合いながら歌う活動について取り上げられており、目標が達成できるようになっている。 ○ 器楽の第3・4年については、リコーダーを一音ずつ丁寧に学習させ発展させたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動が取り上げられており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 音楽づくりの第1・2学年については、リズムをつくって遊んだり、たいこの音やリズムを声で表したりして、学習を広げながら目標を達成することができるようになっている。 ○ 観賞の第3・4学年については、楽器の音色や曲の流れを捉えたり、感じ取ったりしながら全体を味わって聴く活動が取り上げられており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 主体的、対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第1・2学年では見通しをもたせるとともに、選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に、歌に合わせて体を動かすなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「どれみとなかよし」が取り上げられている。第3・4学年では学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「日本と世界の音楽」が取り上げられている。第5・6学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、交響曲の観賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりすることができるように「アンサンブルのみりよく」が取り上げられている。 ○ 内容の構成については、いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に、おまつりの音楽をつくる学習を取り扱うなど、配慮されている。 ○ 内容の排列については、音の動き方を生かして旋律をつくる学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱ったり、日本の民謡を調べる学習の後に、旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱ったりするなど、工夫されている。
使用上の配慮等	○ 折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載したり、即興的に表現する活動を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、他教科と関連する教材として「ショートタイムラーニング」を掲載したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

音楽科調査研究報告書

書名 観点	教育芸術社 小学生の音楽 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歌唱の第5・6学年については、和音のひびきの移り変わりを感じ取ったり、曲想を生かして旋律のまとまりを大切にしたりして、歌う活動が実践的な内容で系統立てて取り上げられており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 器楽の第3・4学年については、タンギングの丁寧な扱いなど、リコーダーを吹く息の使い方に気を付けたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動が取り上げられており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 音楽づくりの第1・2学年については、ことばでリズムを作ったりリズムの繰り返しを使ったりして、児童が工夫して目標を達成することができるようになっている。 ○ 鑑賞の第3・4学年については、旋律の音の上がり下りに気付いたり、音楽が表している様子を思い浮かべたりして聴く活動が取り上げられており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第1・2学年では学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に、習ったリズムを選んで歌いながら打つなど、考えを広げたり深めたりすることができるよう「はくについてリズムをうとう」が取り上げられている。第3・4学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりすることができるよう「日本の音楽でつながろう」が取り上げられている。第5・6学年では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本楽曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりすることができるよう、「詩と音楽との関わりを味わおう」が取り上げられている。 ○ 内容の構成については、いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に、音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど、配慮されている。 ○ 内容の排列については、旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱ったり、日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を取り扱ったりするなど、工夫されている。
使用上の配慮等	○ 学習をサポートする写真やイラストを掲載したり、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、一年間で学習する内容の見通しを持たせたり、巻末に「ふり返りのページ」を掲載し、学習を振り返ることができるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したりするとともに、タブレット端末で学習するコンテンツにアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5 年 7 月 19 日

第9地区教科用図書調査委員会	図画工作	小委員会
----------------	------	------

委員長 玉 造 至



委員 塩 浦 亜 紀

委員 渡 場 陸

委員 北 野 浩 幸

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	図画工作	学 年	1 ～ 6 年
調 査 研 究 経 過	＜第1回調査委員会＞ ○各委員からの自己紹介 ○小委員会委員長の選出 （北見市立川沿小学校 玉造 至校長） ○教科書会社二者の内容を全員で確認した。 ○調査の支店と方向性を確認した。 ○各会社の詳細を確認した。 ○第2回（7/12）の調査会に向けて、分担を決める。 ○各自ですべての会社をチェックしてくる。 ○日文の観点別の項目に照らし合わせて、もう一者と比較 ＜第2回調査委員会＞ ○各委員より調査結果の報告と協議を交流する。 ○調査研究の観点に基づいて、日文・開隆堂の取り扱い内容について、各委員より調査した結果を報告協議しまとめた。 ○内容の構成・排列・分量等について、実際の教科書を見て、二者それぞれの特色をまとめた。 ○使用上の配慮等について、児童の学習意欲を高める工夫を自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているかなど、意見を出し合いまとめた。 ○調査研究報告書の作成 調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。 ＜第3回調査委員会＞ ○文言文末の修正等を委員全員で行った。				
少数意見及び参考となる事項	特になし				

図画工作科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂出版 図画工作 105 305 505 106 306 506
取扱内容、内容の構成・排列	○ 造形遊びをする活動については、砂や土、段ボールを切って組み合わせたり、身近な場所にある特徴をとらえてつくりかえたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 絵や立体、工作に表す活動については、第1・2学年では、手や指を使った描き方を工夫して絵に表したり、カッターナイフを使っていろいろな線を切ったりする活動を、第3・4学年では、色々な布の形や色から作りたいものを考えたり、のこぎりやかなづちを使って、材料を組み合わせ楽しく使えるものをつくったりする活動を、第5・6学年では、季節を感じて表したいことや表し方を考えたり、材料や用具の使い方を工夫したりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 鑑賞する活動については、学齢に則して、好きなものや大切なものを想像したり、日本や諸外国の作品のよさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 「共通事項」については、様々な素材を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1・2学年では「あなでつながる二つの世界」、第3・4学年では「みんなでつくろうねん土ランド」、第5・6学年では「学校おすすめガイド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせたりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ いきいきと活動する児童の姿の写真を掲載したり（全学年）、地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

図画工作科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 図画工作 107 307 507 108 308 508
取扱内容、内容の構成・排列	○ 造形遊びをする活動については、砂や落ち葉、段ボールを切って組み合わせたり、場所の形や使われ方をとらえて変身させたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 絵や立体、工作に表す活動については、第1・2学年では、紙を破いてできた形を並べ絵に表したり、楽しかったことや頑張ったことをねん土で表したり、カッターナイフを使っていろいろな線を切ったりする活動を、第3・4学年では、用具を使って切り出したねん土を組み合わせたり、彫刻刀を使って線や形から表したことを考えたりする活動を、第5・6学年では、電動糸のこぎりを使い自由に切った板の形を組み合わせたり、材料の質感を感じながら組み合わせたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 鑑賞する活動については、学齢に則して、身の回りの形や色のよさを感じ取ったり交流したりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 「共通事項」については、様々な素材を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1・2学年では「カラフルいろみず」、第3・4学年では「これでかきたい」、第5・6学年では「自然を感じるすてきな場所で」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせたりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 授業での児童の表情や試行錯誤する情景写真を掲載したり（全学年）、全国の様々な造形活動や美術館の取組、伝統工芸、美術作品などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5年 7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	家 庭	小委員会
----------------	-----	------

委員長 大 岩 芳 江



委 員 遠 藤 寿 枝

委 員 鴨 部 理 恵

委 員 棧 典 子

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	家 庭	学 年	5, 6 学年
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（紋別市立紋別小学校大岩芳江校長） ○調査研究内容の確認 ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/12）までの方向性の確認 具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回（7/19）までの方向性の確認 第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 大岩委員（東書、開隆堂） 遠藤委員（東書、開隆堂） 鴨部委員（東書、開隆堂） 棧 委員（東書、開隆堂） <第2回調査委員会> ○各委員からの調査の結果報告と研究協議 （1）取り扱い内容について ①「A家族・家庭生活」について ・家族と協力して行う家庭の仕事について考える活動や家族との団らんを計画する活動についての取り扱い ②「B衣食住の生活」について ・「衣」「食」「住」の単元構成 ・北海道の食材の取り上げ方 ③「C消費生活・環境」について ・2年間を通じた単元構成 ・消費活動とSDGsの取り扱い ・現代社会で直面する消費生活について学び考える内容の取り扱い ④「主体的・対話的で深い学び」について ・主体的・対話的で深い学びにつながる構成 ⑤「内容の構成・排列」について ・児童の視点での学習内容 ⑥「使用上の配慮」について ・学習意欲を高める配慮 ・2年間の学びの系統性 ・中学校との関連 ・端末を用いた学習 <第3回調査委員会> ○各委員からの調査の結果報告と研究協議				

	・ 第2回の研究協議の確認と追加の結果報告と研究協議を行った。 ○最終的な報告様式に沿った調査研究内容の検討 ・ 各委員からの調査の結果報告と研究協議をもとに報告様式に沿って調査研究報告書にまとめた。調査研究報告書内容の確認を行った。 ○調査研究の概要 ・ 東京書籍及び開隆堂の2者について、観点の項目ごとに調査研究を実施した。 ○調査研究報告書の作成 ・ 調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。
少数意見及び参考となる事項	○特になし。

家庭科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる 5 0 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「A家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、家族と協力して行う家庭の仕事について考える活動や、家族との団らんを計画する活動 ○ 「B衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、よごれの種類や場所に合わせたそうじの仕方について考える活動や、目的に合った袋を製作する活動 ○ 「C消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、目的に合った選び方や買い方について考える活動や、環境に配慮しながら冬の生活を工夫する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「課題発見」「課題解決・実践」「評価・改善」の3ステップの構成により生活の中から課題を発見し、課題を解決するために基礎的・基本的な技能の習得を通し、話し合ったり発表したりしながら、これからの生活に生かす活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・「A家族・家庭生活」については、第5学年では、2単元で構成され、自分でできる仕事を見つける活動から、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育成する活動、第6学年は2単元で構成されており、生活時間の有効活用、自立する力、心のつながりを重視した活動 ・「B衣食住の生活」については、第5学年の単元構成として「衣」2単元、「食」2単元、「住」2単元となっており、第6学年では、「衣」1単元、「食」2単元、「住」1単元、児童の視点から学習ができるように「衣」と「住」の単元を複合的に扱い、問題解決型の学習を目指す構成 ・「C消費生活・環境」については、第5学年1単元の構成となっており、5学年の早い段階で複合的に取り扱い、消費活動とSDGsの関連性に着目させ、後の学習に生かす構成
使用上の配慮等	○ 2年間の学びの見通しが分かりやすく記載されており、小・中学校間の学びのつながりが視覚的に捉えられる。 ○ 安全管理上の留意点が巻頭にまとめられている。 ○ 1人1台端末を活用する二次元コードによる動画や資料が掲載されている。 ○ 家庭科の内容構成が複合的にまとめられ、児童の視点から学習ができる。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ A4版で、総ページ数は150ページ。

家庭科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂出版 わたしたちの家庭科 5・6 504
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「A 家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ 家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、自分にできる家庭の仕事について考える活動や、地域の中でできることを計画する活動 ○ 「B 衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ 食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、物の生かし方や不用品を減らす方法について考える活動や、生活に生かす袋を製作する活動 ○ 「C 消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ 消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、買い物をするとき集める情報について考える活動や、資源やエネルギーの使い方を工夫する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ 自分自身の生活を見つめることを出発点として、学習を通して身に付けた知識及び技能を自らの生活に生かし深めていく活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・ 「A 家族・家庭生活」については、第5学年では、3単元で構成され、自分の生活を見つめて、家族の一員としてできることを考える活動、第6学年では、2単元で構成され、児童自身の生活時間のマネジメント、人とのかかわりを見つめる活動 ・ 「B 衣食住の生活」については、第5学年の単元構成として「衣」3単元、「食」2単元、「住」2単元となっており、第6学年では、「衣」2単元、「食」2単元、「住」2単元であるとともに、基礎基本をスモールステップで身に付ける構成 ・ 「C 消費生活・環境」については、第5学年1単元、第6学年1単元の構成となっており、第5学年では、消費生活、第6学年では、SDGsの学習を段階的に行う構成
使用上の配慮等	○ 調理、製作実習手順は、全てその全体の流れが見えるような横流れの実習手順で統一されている。 ○ 安全管理上の留意点が巻末にまとめられている。 ○ 1人1台端末を活用する二次元コードによる動画や資料が掲載されている。 ○ 写真や絵を使用し、視覚的に理解しやすい構成となっている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ A4版で、総ページ数は154ページ。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	体 育	小委員会
----------------	-----	------

委員長 信 田 雅 守



委 員 高 橋 佳 代

委 員 北 山 賀 一

委 員 小 西 政 策

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	体 育	学 年	3～6 学年
調 査 研 究 経 過	＜第1回調査委員会＞ ○小委員会委員長の選出 北見市立高栄小学校長 信田雅守校長 ○調査研究内容の確認 ・「教科書採択の参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/12）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回（7/19）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 信田委員（東書、学研、大日本、文教） 高橋委員（学研、公文、大日本、大修館） 北山委員（東書、公文、大修館、文教） ＜第2回調査委員会＞ ○各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容」について（10：00～16：00） ①「健康な生活」に関する内容について ・健康な生活について、振り返ったり、話し合ったりして課題を見つけ、その解決を目指した活動について工夫がなされている。（小西委員） ②「体の発育・発達」に関する内容について ・自身の身長の変化を調べたり、思春期に起きる心と体の変化を知ったりして、課題を見つけ、その解決を目指した活動について工夫がなされている。（高橋委員） ③「心の健康」に関する内容について ・心の変化について、経験を想起したり、話し合ったりして、課題を見つけ、その解決を目指した活動について工夫がなされている。（北山委員） ④「けがの防止」に関する内容について ・危険やけがについて話し合ったり、自分でできる手当を考えたりして、課題を見つけ、その解決を目指した活動について工夫がなされている。（小西委員） ⑤「病気の予防」に関する内容について ・病気になった要因について考えたり、予防する方法について話し合ったりして、課題を見つけ、その解決を目指した活動について工夫がなされている。（高橋委員） （2）「内容の構成・排列」について ・各者とも、発達段階に応じた内容の構成・排列について系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。（北山委員） ＜第3回調査委員会＞ ○各委員からの調査結果の報告と研究協議				

	(1) 「構成・排列」「使用上の配慮等」について (10:00～16:00) 信田委員：デジタルコンテンツが豊富に使われていて、学習意欲を高める工夫がなされている。 高橋委員：教材研究できるように配慮されたり、児童が振り返りができたりするように構成されている。 北山委員：各者とも、見やすい文字やデザインにしたり、ユニバーサルフォントを使用したり、構成・排列が工夫されている。 小西委員：各者とも、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。 (2) その他 ・各者、学習用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○調査研究の概要 ・各自、役割分担に応じて、教科書の調査・分析を行った。 ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。 ・各者の工夫や表記に配慮しながら、報告書の作成を行った。
少数意見及び参考となる事項	各者、ICTを活用した学びに対応するため、QRコンテンツを利用した学びができるように工夫がなされている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい保健 306 506
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、実験の結果を基に体や衣服などを清潔に保つ理由や健康に過ごすためのアドバイスについて理解し、課題を見つけ、解決策を考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、身長のかびや発育の個人差を調べ、よりよく成長するための生活の仕方を考える活動を通して、課題を見つけ、解決策を考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、経験による心の発達や心と体が影響し合っていること、不安や悩みへの対処方法について理解し、課題を見つけ、解決策を思考・判断し、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、事故やけがの原因、危険予測や危機回避の方法と的確な判断について理解し、ケガの手当やケガの対応について考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、病気の原因や感染症、生活習慣病、喫煙・飲酒・薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年では、「健康な生活」において、「毎日をけんこうにすごすには、どんな生活の仕方がよいのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」「深める・伝える」などが取り扱われている。 第5,6学年では、「けがの防止」において、「交通事故はどのようにすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」「深める・伝える」などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、入学してからの体の成長について学習した後、体が発育する時期や変化する量の個人差について考える学習活動を位置付け、思春期の体の変化について同様の学習活動ができるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、思春期の体の変化の学習においても同様の学習活動ができる工夫がされている。第5,6学年は、自分から他者へと考える視野を広げられるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、各項目末に関連ある資料や二次元コードの掲載、「気付く・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の展開を図るなど、児童の学習意欲が高める工夫がなされている。 ○ 全学年、単元はじめに目標や学習内容を示したり、課題解決に結びつく視点などをキャラクターの吹き出しで示したり、児童に身につけてほしいスキルを扱ったりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ どの単元にも自分事として捉えられるように思考場面やチェック表を掲載したり、全学年ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習用デジタル教科書の発行が予定されている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしい保健 3 0 7 5 0 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、1日の生活をふり返り、健康な生活の仕方や身の回りの環境の整え方について理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、自分の身長の変化や思春期における体の変化を調べ、よりよく成長するための生活の仕方を話し合う活動を通して、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、心と体のつながりに関する自分の経験をふり返り、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を通し、課題を見つけ、その解決策を思考、判断し、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、危険を予測し、安全な行動をとることやケガをしたときの適切な手当について理解し、ケガの手当やケガの対応について考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、病気の起こり方や予防、喫煙や飲酒・薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年では、健康な生活の学習において、学習課題を設定し、「話し合おう」で生活リズムの関わりを調べたり、「活かそう」で工夫したいことを書くなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り扱われている。 第5,6学年では、けがの防止の学習において、学習課題を設定し、「考えよう」で安全な行動について考え、「活かそう」で、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成については、1日の生活の仕方や健康によい生活環境について学習した後、自分の生活をふり返り、さらに自分の生活リズムを整えるための学習ができるように位置付けられている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、課題を発見し生活に生かすことができる工夫がされている。第5,6学年は、学習内容を広げて知識を深められるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、単元の扉に学習課題に気づくことができる簡単なゲームの掲載や、ミニ知識を示すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年、考える、話し合う、調べるなどの活動を通して課題を解決する活動を示したり、学習でまとめたことを活用し、深める活動を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色に配慮したり、1人1台端末を活用した活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	大修館書店 新 小学校保健 308 508
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、自分の生活をふり返り、友だちと話し合ったり、空気の流れの実験結果を基に換気の大切さを考えたりするなど課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、身長伸びを調べ、思春期に起こる体や心の変化を考えるなど、よりよく成長するための生活の仕方を話し合う活動を通して、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、心の働きがどのように変化してきたか話し合い、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を通し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、資料を基に交通事故を防ぐための方策を考え、けがの簡単な手当の仕方の実習を行ったりするなど、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、病気の要因について自分の生活をふり返って考え、感染症を予防する方法について話し合ったりするなど、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年では、体の成長の学習において、学習課題を設定し、「考えよう」で食品のバランスについて考え、「話し合おう」で、その理由を話し合うなど自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 第5,6学年では、病気の予防の学習において、学習課題を設定し、「調べよう」病気の起こり方について調べ、「話し合おう」で、気づいたことを話し合うなど自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成については、体の発育の仕方と個人差について学習した後、思春期の体への変化についての学習したり、感染症の予防について学習した後、身近な生活習慣病の予防について考えたりするなどのように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、課題をつかみ、学習したことを生活に生かすことができる工夫、第5,6学年は、学習をしたことを振り返り、これからの自分の生活に生かしていくなど、系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、健康課題を発見する活動を設定したり、教科書に書き込みスペースを設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年、対話的な活動を示したり、自分の生活を見直すなどして、自己の課題を修正する活動を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、視認性と可読性を高め、色覚の特性に対応し、1人1台端末を活用した活動として、二次元コードを掲載し、動画やクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	文教社 新わたしたちの保健 309 509
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、健康な生活を送るために、毎日の生活の仕方と身の回りの環境について理解し、課題を見つけ、解決策を考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、身長や体重の変化、思春期における体や心の変化について理解し、課題を見つけ、解決策を考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、思春期の不安や悩みについて調べたり、不安や悩みの対処方法について話し合ったりする活動を通して理解し、課題を見つけ、解決策を思考・判断し、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、イラストやグラフを基にけがの発生と原因、危険予測と回避の方法について理解し、けがの手当やけがの対応について考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、病気の原因や予防、喫煙・飲酒・薬物乱用などが健康に及ぼす影響を理解し、課題解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 - 第3,4学年では、「健康な生活」において、「けんこうでいるためには1日の生活のしかたをどのようにすればよいのか」という課題を設定し、調べよう、もう一歩先の自分へなどが取り扱われている。 - 第5,6学年では、「心の健康」において、「わたしたちの心と体はどのように関わり合っているのか」という課題を設定し、調べよう、もう一歩先の自分へなどが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、毎日の生活と健康について学習した後、健康に関する目標や理由を伝え合ったり、喫煙の害について学習した後、たばこを勧められたときの対処を考えたりするなどのように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、目標を意識して健康な生活を送ることができる工夫がされている。第5,6学年は、飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、学年はじめに見開き2ページでイメージしやすい写真を掲載し、興味を引きつけ見通しがもてるようにするなど、児童の学習意欲が高める工夫がなされている。 ○ 全学年、本時のメニューやミッションなどの学習方法を提示したり、課題解決の視点等をキャラクターの発言で示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 全学年、知ってほしい情報を「もっと考えよう課」などのコーナーとして掲載したり、ユニバーサルデザイン等の視点から読みやすくわかりやすいものにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	光文書院 小学保健 3 1 0 5 1 0
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、1日の生活をふり返り、健康な生活の仕方や身の回りの環境の整え方について話し合う活動を通して、課題を見つけ、その解決策を考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、自分の身長の変化や思春期における体の変化を調べ、よりよく成長するための生活の仕方を話し合う活動を通して、課題を見つけ、その解決策を考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、心が体に影響する事例や経験を基に、不安や悩みへの対処法として深呼吸の仕方の実習を行ったりするなど、課題を見つけ、その解決策を考え、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、けがや事故の発生原因について事例やデータを基に考え、簡単な手当の実習、適切な手当の手順を考えるなど、課題を見つけその解決策を考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、生活習慣病の予防について調べたり、感染症を予防する方法について話し合ったりするなど、課題を見つけ、その解決策を考え、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年では、健康な生活の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「調べよう・考えよう」で調べたり、「話し合おう」で、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 第5,6学年では、病気の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、「調べよう」「学びを生かそう」で、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成については、体の発育の仕方と個人差について学習した後、思春期に現れる変化や個人差について考えたり、危険の予測と安全な行動について学習した後、交通事故の防止について考えたりするなどのように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、学習したことを広げ、実生活に生かすことができる工夫がされている。第5,6学年は、犯罪被害の防止においても同様の学習活動ができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、各章の扉に学習のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年、導入で学習内容を自分のこととしてとらえることができる問いを示したり、他者に伝える活動を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを用いたり、配色に配慮したり、1人1台端末を活用した活動として、二次元コードを掲載し、動画や資料、ウェブサイトの情報を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

体育科調査研究報告書

書名 観点	学研 新・みんなの保健 3 1 1 5 1 1
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第3,4学年の「健康な生活」については、2人の1日の生活の仕方を比べ、健康な生活の仕方や部屋の空気の様子を理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「体の発育・発達」については、思春期に起こる体の変化や男女の違い、給食の献立調べや栄養バランスについて理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 ○ 第5,6学年の「心の健康」については、心と体が密接に関係している事例や自分の経験、不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行うなど、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「けがの防止」については、けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考え、事故を防ぐための工夫や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。 「病気の予防」については、病原体が要因となって起こる病気や生活習慣病の予防について調べ、話し合ったりするなど課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断し、表現できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年では、健康な生活において、「毎日をけんこうにすごすには、どんな生活の仕方がよいのか」という課題を設定し、調べる・解決する、深める・伝えるなどが取り扱われている。 第5,6学年では、けがの防止において、「交通事故はどのようにすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」「深める・伝える」などの活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成については、体の発育の仕方と個人差について学習した後、体つきの変化と個人差について話し合い整理する学習活動を位置付け、体の中で起こる変化についても個人差があることに気付くことができるよう配慮されている。 ○ 内容の排列については、第3,4学年は、学習したことを実生活で確かめることができる工夫がされている。第5,6学年は、実感を伴って理解し、実生活に生かすことができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。
使用上の配慮等	○ 全学年、学習を身近に感じることができる資料を掲載し、選択的に学習できるようにするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年、教科書のはじめに学習の進め方や、学習内容に関連する職業に携わる人や専門家による解説を掲載するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、レイアウトやデザイン、配色に配慮し、1人1台端末を活用した活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	外国語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 爲広 千里



委員 今野 隼人

委員 山下 美知枝

委員 菊野 淳一

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	外国語	学 年	第 5 学年 第 6 学年
調 査 研 究 経 過	<第 1 回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（北見市立若松小学校爲広千里校長） ○調査研究内容の確認 ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定する。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第 2 回、第 3 回までの方向性の確認 具体的な視点に沿って各自調査研究し調査結果を持ち寄る ○調査研究等の役割分担 爲広委員（東書、三省堂、光村、教出） 山下委員（東書、啓林館、開隆堂、光村） 今野委員（啓林館、三省堂、開隆堂、教出） ○次回の調査委員会までに行うことについて ・各担当は教科書を読み、特徴を把握する。 <第 2 回調査委員会> ○様式 2 の作成及び各委員からの調査の結果報告と研究協議 東京書籍、開隆堂、三省堂、啓林館 ○調査研究報告書の作成 ・取扱内容、内容の構成・排列、使用上の配慮等、調査の観点について小委員会としての調査研究の内容を記述した。 <第 3 回調査委員会> ○様式 2 の作成及び各委員からの調査の結果報告と研究協議 教育出版、光村図書 ○調査研究報告書の作成 ・取扱内容、内容の構成・排列、使用上の配慮等、調査の観点について小委員会としての調査研究の内容を記述した。 ○各社の特徴の確認 ・学習内容や活動の比較、各社の特色を交流した。				
少数意見及び参考となる事項	特になし。				

外国語調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary 5 0 9 6 0 9 5 1 0
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では日常の生活場面について、理解した内容とイラストを結び付ける活動、第6学年では、自己に繋がる場面から世界とのつながりへ設定を広げて行く中で、分かったことを記述させる活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた会話を読んで、その意味を捉える活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと[やり取り]」については、第5学年では、自己紹介や誕生日など、自分の考えや気持ちを伝え合う活動、第6学年では、週末の思い出や中学校でやりたい部活など、情報交換をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、自分の長所や身近な人、簡単な事柄を発表する活動、第6学年では、最近の出来事や地球を守るために自分ができることや、自分の意見や気持ちを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の形や書き方のほか、音声で慣れ親しんだ語句を書き写す活動、第6学年では、行きたい国や小学校の思い出を音声で慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動などを取り入れ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、自分の町の施設を紹介する活動やオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介する活動、第6学年では、SDGsを視野に入れて自分ができることを考える活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、地域の行事や社会科で学習した事項を取り上げるなどの配慮がされている。 ○ 内容の排列については、発達段階に沿って、第5学年は「日本」、第6学年は「世界」を中心に扱ったテーマ別構成になるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 憧れの人や日本のヒーローの魅力を上げたり、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ お互いの魅力を発見したり、SDGsをテーマにした学習など児童が主体的に学習に取り組んだりできるように工夫されている。 ○ 左利きの児童にも配慮した紙面にしたり、視認性や書きやすさに配慮されたオリジナル書体を採用したりするなど使用上の便宜が図られている。
その他	○ 映像の本数や一本当たりの時間を短縮して、児童の自己表現活動などに時間を割くことができるようにしている。

外国語調査研究報告書

書名 観点	開隆堂出版 Junior Sunshine Junior Sunshine Word Book 5 1 1 6 1 1 5 1 2 6 1 2
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では、好きなものやできること、できないことなど具体的な情報を聞き取る活動、第6学年では、互いのことをよく知るために、将来の夢や日本の文化の情報を聞き取る活動などを取り上げており、目標を達成することができるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を読み、アルファベットを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた旅行会社のウェブページなどを読んで、その意味を捉える活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、第5学年では、自分や相手のことについて伝え合う活動、第6学年では、行きたい国や将来の夢について伝え合う活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、第5学年では自分の考えや気持ちなどを話す活動、第6学年では、内容を整理したうえで話したりする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、大文字や小文字を識別したり、例文を参考して書いたりする活動、第6学年では、好きなものや行きたい国について書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介する活動、第6学年では、小学校の思い出アルバムで自分の1番の思い出を発表する活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、地域教材や異文化理解資料を取りあげて、子どもたちが国や地域に興味をもち、考えたり伝えたりするきっかけになるように配慮がされている。 ○ 内容の排列については、毎時間の終わりに「CAN-DO チェック」で自己評価を記録し、自身の成長や課題を確かめたりすることができるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 各単元の後に、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物「Story Time」を掲載し、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 単元のゴールと見開きごとのめあてを掲載し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 評価領域・観点、他教科等や教育課題との関連が記載されているなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 単元ゴールの言語活動のモデルを実写映像で収録し、意欲を高めるようにしている。

外国語調査研究報告書

書名 観点	三省堂 CROWN Jr. CROWN Jr. My Dictionary 5 1 3 6 1 3 5 1 4
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では、自分や友だち家族の紹介や、日本の名所を聞く活動、第6学年では、夏休みにしたことや職業、中学校になったらしいことを聞き取る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、アルファベットの名称読みと音読みを整理する活動、第6学年では、単語の仲間集めや繋がりがある文章を読む活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと[やり取り]」については、第5学年では、自己紹介やできることを伝え合う活動、第6学年では、ペアワークの活動や友だちの夢を応援したり、どんな中学校生活を送りたいか伝え合ったりする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では自己紹介や憧れの人、おすすめの場所を紹介する活動、第6学年では、地域や思い出、自分の夢を発表する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、友だちに家族を紹介したり、行きたい国でしたいことを表現したりする活動、第6学年では、日本の紹介や小学校生活の思い出を書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、人物紹介クイズをして得意なことを伝え合う活動、第6学年では、これからの私についてスピーチする活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、HOP で学習の見通しをもち、STEP で語句や表現を段階を踏んで学習し、JUMP で学んだことを状況に応じて表現できる構成になるよう配慮されている。 ○ 内容の排列については、言語材料が平易なものから段階的に排列されており、アウトプットの前に十分にインプットすることができるよう工夫されている。
使用上の 配慮等	○ 「ABC Fun Box」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 将来就きたい職業や夢を伝えるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 巻末の予備カードを奥側に配置し、児童が紛失しないよう、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 指導者用デジタル教科書には、指示文の英語での発話音声、児童への問いかけの例などが用意されている。

外国語調査研究報告書

書名 観点	教育出版 ONE WORLD Smiles 5 1 5 6 1 5
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と単語を結び付ける活動、第6学年では、中学校の行事などについて理解する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、アルファベットの大文字、小文字を識別する活動、第6学年では、将来の夢について、音声を聞きながら読む活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、第5学年では、好きなものや欲しいものをたずね合う活動、第6学年では、夏休みにしたことや将来就きたい職業をたずね合う活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、第5学年では、できることをグループの中で発表する活動、第6学年では、ポスターを使って「日本のすてき」を発表する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、お世話になった人に「Thank You カード」を作成する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、行ってみたい都道府県についてのクイズを作って出し合う活動、第6学年では、グループでツアーパンフレットを作成し、発表する活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第5学年では、世界の子どもの学校生活を知ったり、第6学年では、自分たちの町のおすすめの場所をたずね合い、分かったことをメモしたりするなどの配慮がされている。 ○ 内容の排列については、第5学年では、グループの中であこがれの人を発表する活動、第6学年では、グループでツアーパンフレットや思い出のアルバムを作成する活動を取り扱うなど、工夫されている。
使用上の配慮等	○ 世界の子どもたちの様子にふれ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりしながら学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 単元の冒頭で目標を確認し、最後に自己評価できるようにすることで、児童が自身の達成度をふり返ることができるように工夫されている。 ○ 表紙には抗菌加工がされており、製本は堅牢で長期間の使用に耐えられるようになっている。
その他	○ 自分が話す音声を録音したり、録音した音声を再生して確かめたりできる。

外国語調査研究報告書

書名 観点	光村図書 Here We Go! 5 1 6 6 1 6
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では、クイズからできることやできないことを聞き取る活動、第6学年では、世界の友だちのスピーチから、その国の様子を聞き取る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、アルファベットの大文字、小文字を識別し発音する活動、第6学年では、絵本から挿絵を手掛かりにして語句や表現を見つけ、その意味を捉える活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、第5学年では、誕生日や誕生日に欲しいものをたずね合う活動、第6学年では、スピーチを聞いて、質問したり、感想を伝えたりする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、第5学年では、お互いの違いを認め合う詩を作って発表する活動、第6学年では、身近なことについて、内容を整理して、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、大文字と小文字の形や高さの違いに注意して書く活動、第6学年では、語順を意識しながら、簡単な語句や表現を書き写す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、地域の名産品を使った料理を考えて、店員と客になって料理を注文し合う活動、第6学年では、これまでに学んできた英語を使ってグループで協力し合い、イングリッシュフェスティバルを開く活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第5学年では、自分、他者、地域、第6学年では、日本、世界、将来という段階的なテーマで学習できるようにするなど配慮がされている。 ○ 内容の排列については、教材が平易なものから段階的に難度が高くなるよう排列され、最終学年の第6学年で、小学校生活をふり返って印象に残ることや中学校でしたいことを伝え合う活動を組むなど、工夫されている。
使用上の配慮等	○ 巻末に成果が一覧できるシートを用意し、学びの足跡をポートフォリオのように残すことができるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 自己紹介で「I like …」のように、必要な全てのセリフを示さず、考える余地を残すなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫がなされている。 ○ 書きこみやすい質感の紙を使用したり、紙面を視覚的に大きく見せることができる横幅の広いAB版を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、現行のデジタル教科書に比べ紙面の読み込み速度の約85%短縮を実現している。

外国語調査研究報告書

書名 観点	啓林館 Blue Sky elementary 5 1 7 6 1 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、第5学年では、誕生日にほしいものや行ってみたい国などについて聞く活動、第6学年では、好きなものや行ってみたい部活動などについて聞く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「読むこと」については、第5学年では、アルファベットの識別と発音をする活動、第6学年では、慣れ親しんだ表現を使って書かれた文を音と文字との関係を手がかりに理解する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと [やり取り]」については、第5学年では、時間割や1日の生活時間をたずねたり答えたりする活動、第6学年では、思い出の学校行事をたずねたり答えたりする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「話すこと [発表]」については、第5学年では、好きな人物やキャラクターの魅力を伝えるように話す活動、第6学年では、憧れている人について、その人への気持ちが伝わるように話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 「書くこと」については、第5学年では、行きたい国を正しく書く活動、第6学年では、中学校でやってみたいことを見本を参考にしながら書き写す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、自分の1日の過ごし方、第6学年では、日本の魅力を題材にし、映像視聴やリスニング活動を通して推測できる仕組みを設け、推測したことを児童同士で共有して理解が深まる活動などが取り扱われている。 ○ 内容の構成については、第5学年では、主に身近なことや知っていることを英語で表現する内容を、第6学年では、身の回りのことを詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったりしながら学習する構成になるよう配慮されている。 ○ 内容の排列については、各 Unit に3つの Step を設け、「聞く」「話す」を繰り返しながら、スモールステップで少しずつ積み上げていくように工夫されている。
使用上の配慮等	○ やり取りの場面を多く設定することによって、友だちと伝え合う楽しさを感じられるようにして、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学びの見通しをもったり、振り返ったりすることで、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫がなされている。 ○ 世界地図、日本地図を大きく見られるように折り込みにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ SDGs の目標や取り組みを紹介する Web サイトにアクセスすることができる。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和5年7月19日

第9地区教科用図書調査委員会	道徳	小委員会
----------------	----	------

委員長 神 田 秀 樹



委 員 修 田 一 義

委 員 宮 田 一 央

委 員 桂 木 美 幸

委 員 佐 藤 祐 輔

委 員 河 合 建 弥

委 員 石 井 晃 一

委 員 帰 山 哲 雄

委 員

委 員

委 員

学校種目	小 学 校	種 目	特別の教科道徳	学 年	1 ～ 6 学年														
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> 1 小委員会委員長の選出（網走市立呼人小学校 神田秀樹 校長） 2 調査研究内容の確認 （1）「教科書採択参考資料」を参考に、作業の概要と手順を確認した。 （2）多様な視点で調査研究を行うため、1社の教科書を複数人で担当するよう分担した。 <table><tr><td>出版社</td><td>担当委員</td></tr><tr><td>東京書籍</td><td>神田・佐藤</td></tr><tr><td>教育出版</td><td>桂木・宮田</td></tr><tr><td>光村図書出版</td><td>河合・修田</td></tr><tr><td>日本文教出版</td><td>神田・佐藤</td></tr><tr><td>光文書院</td><td>桂木・宮田</td></tr><tr><td>学研</td><td>河合・修田</td></tr></table> （3）報告書の具体的な視点を確認した。 ①取り扱う学年の決定 ②取り上げる観点の決定 ③取扱内容、内容の構成・排列の確認 ④使用上の配慮等の観点の確認 ⑤その他の観点の確認 ⑥体裁上の確認 3 今後の調査研究日程の確認 （1）第2回（7/12）までに、「教科書採択資料」を参考にして、各委員が調査研究を行い、その調査結果を持ち寄ることを確認した。 <第2回調査委員会> 1 各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）報告書の具体的検討 全員で持ち寄った報告書を検討し、文言等の整理、修正を行った。 （2）報告書の原案作成 採択参考資料をもとに、記述の観点、記述量、文末表現や全体の体裁等を整えるよう協議し、原案に修正を加え、作成した。 2 今後の調査研究日程の確認 （1）第3回（7/19）までに、3つの観点（「生命の尊さ」「自然愛護」「個性の伸長」）をもって、各社の教科書をさらに深く調査することとした。 <第3回調査委員会> 1 報告書（様式3）の最終確認 （1）全員で観点到に沿った記述となっているか、表記上の統一が図られているかを確認。 2 各委員からの調査結果の報告と協議					出版社	担当委員	東京書籍	神田・佐藤	教育出版	桂木・宮田	光村図書出版	河合・修田	日本文教出版	神田・佐藤	光文書院	桂木・宮田	学研	河合・修田
	出版社	担当委員																	
	東京書籍	神田・佐藤																	
	教育出版	桂木・宮田																	
	光村図書出版	河合・修田																	
	日本文教出版	神田・佐藤																	
	光文書院	桂木・宮田																	
	学研	河合・修田																	

	(1) 3つの観点（「生命の尊さ」「自然愛護」「個性の伸長」）を柱に、各社の教科書を調査した結果を報告した。 (2) 想定質問についての協議、回答についての確認等 ○調査研究の概要 (1) 小委員会で、作業の目的、手順、配慮事項等を確認。 (2) 担当者の割り振り。 (3) 調査研究の視点の明確化。 (4) 全体協議のうえ、文言等の修正。 ○調査研究報告書の作成 ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。
少数意見及び参考となる事項	特になし

道徳科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい道徳 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、自分の命について考えることや生命を大切にすることについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、友だちと助け合うためにどのようなことができるのか考える活動を取り上げている。第5学年においては、生きるという意味や命を支え合うことについて自分はどのように思っているのか考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、自分の生活を振り返って、公正、公平な態度で行動するために大切なことは何か、チームやグループで活動するときに必要なのはどのような気持ちなのかについて話し合う活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、身近な自然や動植物にやさしい心で接する大切さについて考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、身近な自然環境を守るためにできることや、その際に大切にしたい心について考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、友だちのよさを見つけることを通して自分のよさについて考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分の好きなことや得意なことを続けた経験や続けるために改善した自分の短所について考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、教材の終末に「教材を通してみんなで考えたいこと」を示していることや、「学習の記録」として自己の考えや思ったことを記入する欄が設けられているなど、道徳的価値について自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、ルールを守れずにオンラインゲームを使い続けることで起きる問題について考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、情報の発信をする際に気を付けるべきことについて考える活動を取り上げているなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第5学年においては、「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」「『ありがとう上手』に」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、教材と関連付けた「つながる・広がる」を適宜配置し、教材で取り上げた道徳的価値についてより多面的・多角的に考えたり、発展的に考えたりできるように工夫されている。また、全ての学年において多文化共生など現代的な課題に関する教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 各教材のページに二次元コードが配置され、教材にかかわる動画や画像、思考ツールやデジタルノートを活用できるようにしているなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 各教材の終末に、児童が自己の生き方について見つめることができるような問いかけをするキャラクターが配置されているなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「道徳の学習を始めよう」や「つながる・広がる」のページを設け、児童が道徳科の学び方について理解できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学道徳 はばたこう明日へ 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3 6 1 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、赤ちゃんの誕生を通して、新しい生命に出会う際の気持ちや、生命の誕生を心待ちにする周囲の人の気持ちについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、自分と相手の気持ちのすれ違いを題材に、相手の立場に立って考える活動を取り上げている。第5学年においては、災害時に大切な命を守ることに力を尽くした人の心情や、病気を患っている人が精一杯生きることについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、友だちのよいところに目を向け協力するための心構えについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、四季特有の自然を身近な所から見つめ、その季節の好きな点や理由を交流し考えを深める活動を取り上げている。第5学年においては、国鳥のトキを通して、環境保全のために自分たちが大切にしたいことを考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、互いのよいところを伝え合うことを通して、自己のよさに気付く活動を取り上げている。第5学年においては、自己の短所を受け入れ、長所に目を向けることを通して自分のよいところを伸ばそうとする心構えについて考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、児童の興味や関心を高めるタイトルを設定していることや、教材の冒頭に道徳的価値について児童に問いかけるキャラクターが配置されているなど、道徳的価値を自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、知らない人に自分や友達の情報を伝えてはいけない理由を考える活動を取り上げ、第5学年においては、インターネット上の交流時に気を付けるべきことを考える活動を取り上げるなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第4学年においては、「北海道の名付け親-松浦武四郎-」、第5学年においては、「よさこいソーラン祭り」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、「現代的な課題と向き合うための新しい教材」を位置付け、SDGsなどと関連を図り、道徳的価値について多面的・多角的、発展的に考えることができるように工夫されている。また、食育やキャリア教育に関連した教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 各教材に「まなびリンク」と称した二次元コードが適宜配置され、教材の解説や関連図書を活用できるようにしているなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 児童の自由で多様な意見を引き出すことのできる教材文の終わり方にしたり、適宜「やってみよう」を配置したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「まなびチェック」欄を教材ごとに設け、児童が学期ごとや一年間の成長を実感できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 道徳 きみがいちばんひかるとき 1 1 4 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、生きていることの素晴らしさや自分の命の大切さについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、友だちが嫌な気持ちになってしまう自分の言動について振り返る活動を取り上げている。第5学年においては、精一杯生きるとはどのような生き方かを考えたり、長い時間命をつないできた多くの生き物の気持ちを考えたりする活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、友だちとよりよい関係を築くために、どのようにしたらお互いを大切にすることができるかについて話し合う活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、生き物を観察したり世話をしたりした時に、感じたことを考える活動を取り上げている。第5学年においては、身の回りにある自然が壮大で美しいと感じたことがあるか、今までの経験を通して考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、自分や友だちのよいところを見つけ、相手に伝える活動を取り上げている。第5学年においては、自分の個性や自分らしさを伸ばしていくために大切なことは、どのようなことかについて考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、教材の冒頭に、児童に道徳的価値について問いかけるキャラクターを配置したり、「学びの記録」で自己の学びを記入するようになっていたりするなど、道徳的価値について自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、友だちの作品を真似する是非を問う教材を通して著作権の問題について考える活動を取り上げ、第5学年においては、インターネットの特性とマナーについて考える活動を取り上げるなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第5学年においては「宇宙から見えたもの」、第6学年においては、「命の旅」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、教材と関連付けたコラムを適宜配置し、教材で取り上げた道徳的価値について、多面的・多角的、発展的に考えることができるように工夫されている。また、全ての学年でいじめ問題や情報モラルなど現代的な課題に関する教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 各教材のページに二次元コードが配置され、動画や音読などを視聴したり、思考ツールや役割演技の仕方について学べるようにしていたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 教科書冒頭の「19のとびら」や「道徳みちあんない」では、道徳科でどの時期に何を学ぶのかを分かりやすく示し、期待感をもって1年間の学びを見通せるようにしているなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 各教材に関連する教科を示すマークが記されており、教科横断的に指導ができるよう使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学道徳 生きる力					
	小学道徳 生きる力 道徳ノート					
	1 1 5	2 1 5	3 1 5	4 1 5	5 1 5	6 1 5
観点	1 1 6	2 1 6	3 1 6	4 1 6	5 1 6	6 1 6
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、自分が成長したと思うのはどのようなときかや、生きているからできること、感じることには、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、人によって違った態度を取ることは、なぜよくないかを考える活動を取り上げている。第5学年においては、精一杯生きるとは、どのような生き方かや命を守るために懸命に努力をしている人たちの思いについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、みんなが気持ちよく集団生活をするために大切にしたい心構えについて話し合う活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、生き物を観察したり生き物についての話を聞いたりしたときに、どのようなことを思ったかを考える活動を取り上げている。第5学年においては、自然を大切にしたいと思った経験について考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、自分や友だちのよいところを見つけてノートに書く活動を取り上げている。第5学年においては、自分の個性や自分らしさを伸ばしていくために大切なことについて考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、教材の冒頭に自己の生き方について問う発問例が配置されていることや、「道徳ノート」に自己の学びを振り返る欄が設けられているなど、道徳的価値について自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、情報機器の便利さや使用する際に気を付けなければならないことについて考える活動を取り上げ、第5学年においては、著作権や情報機器による意思疎通の難しさについて考える活動を取り上げるなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第4学年においては、「聞かせて、君の声を！」、第5学年においては、「美しい夢―ゆめびりか―」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、コラム「心のベンチ」を教材と関連付けて適宜配置し、教材で取り上げた道徳的価値についてより多面的・多角的、発展的に考えたりできるように工夫されている。また、全ての学年において多文化共生など現代的な課題に関する教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。					
使用上の配慮等	○ 各教材のページに、二次元コードが配置され、動画の視聴や、心情メーターやシンキングツールを活用できるようにしているなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 各教材の冒頭に、児童が自己の生き方について見つめることができるような問いかけをするキャラクターが配置されているなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「道徳のとびら」や「道徳の学び方」のページを設け、児童が道徳科の学び方について理解できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。					
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。					

道徳科調査研究報告書

書名 観点	光文書院 小学道徳 ゆたかな心 1 1 7 2 1 7 3 1 7 4 1 7 5 1 7 6 1 7
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、自分がどのように育てられてきたのかや、自分が成長したと思うのはどのようなときかについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、自分がしたことによって相手がどのように感じるかを考える活動を取り上げている。第5学年においては、自分の人生を振り返って生きていると実感できるのはどのような場面かについて考える活動や、命を守ることを仕事にしている人たちの思いについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、皆が気持ちよく集団生活を送るために自分には何ができるのか考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、生き物を大切にしている人の話を聞いたり自然の変化について気付いたことについて話し合ったりする活動を取り上げている。第5学年においては、自然のよさや自然と共に生きるとはどのようなことかについて考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、自分のよさをさらに伸ばすためにはどうしたらよいかを考える活動を取り上げている。第5学年においては、自分らしさとは何かを考え、自分のよさをどのように伸ばしていきたいかについてまとめる活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、教材冒頭に、内容項目について児童の考えを問うキャラクターが配置されていることや、「学びの足あと」として教科書の最後に自己の学びを振り返る欄が設けられているなど、道徳的価値について自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、個人情報など情報機器を扱う上で気を付けなければならないことについて考える活動を取り上げ、第5学年においては、著作権や肖像権など互いの権利を守ることについて考える活動を取り上げるなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第4学年においては、「しぜんを守るエゾリス」、第6学年においては、「世界の文化遺産」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、教材と関連付けコラムを適宜配置し、教材で取り上げた道徳的価値についてより多面的・多角的に考えたり、発展的に考えたりできるように工夫されている。また、全ての学年において人との共生など現代的な課題に関する教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 教材のページに二次元コードが配置され、教材にかかわる詳しい情報を得ることや補足の説明について動画を通して知ることができるなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 各教材の冒頭に、児童が自己の生き方について見つめることができるような問いかけをするキャラクターが配置されているなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「豊かな心」や「道徳の時間はこんな時間です」のページを設け、児童が道徳科の学び方について理解できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	学研 新版 みんなの道徳 1 1 8 2 1 8 3 1 8 4 1 8 5 1 8 6 1 8
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、例えば、第2学年においては、自分の命を宝物だと感じて過ごすことができているかや、生きていてよかったと思うのはどのようなときかを考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、よいと思ったことをしようとして、迷ったことについて考える活動を取り上げている。第5学年においては、自分を大切にしたいと思ったときのことや、生活の中で命の重さについて実感したことについて考える活動を取り上げている。また、いじめへの対策については、いじめられている人を見かけたとき、どのようにしたいと思うかについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、例えば、第2学年においては、生き物を大切にできたことやその時の気持ちについて考える活動を取り上げている。第5学年においては、「もったいない」という言葉に込められた地球環境への思いについて考える活動を取り上げている。 ○ 個性の伸長については、例えば、第2学年においては、自分が好きなことや得意なことは何か、自分のよさとは何かを考える活動を取り上げている。第5学年においては、長所を見つけるために大切なことは何かや、長所を伸ばすためにどんなことができるかを考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、教材の冒頭に児童の問題意識や教材への関心を高めるキーワードを配置したり、教材の最後に自己を見つめるきっかけとなる「考えよう」を配置したりして道徳的価値を自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 内容の構成については、例えば、第2学年においては、正しい情報を伝える際に大切なことについて考える活動を取り上げ、第5学年においては、SNSのトラブルを題材に、情報の発信者として気を付けることについて考える活動を取り上げるなど、情報化社会への対応について配慮されている。また、第4学年においては、「折り紙で広がる世界」、第6学年においては、「市民に愛される動物園を目指して」といった北海道にかかわりの深い教材が取り上げられている。 ○ 内容の排列については、特設ページ「心のパスポート」を教材と関連付けて適宜配置し、道徳的価値について多面的・多角的、発展的に考えることができるように工夫されている。また、全ての学年において多様性を取り上げるなど現代的な課題に関する教材が排列され、系統的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 教材のページに二次元コードが適宜配置され、関連する動画を視聴したり、ワークシートに記述したりできるようにしているなど、デジタルコンテンツとの連携を図り、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 各教材の冒頭に、学習指導要領に示されている道徳科の4つの視点や現代的な課題に関連する内容がマークで示されているなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「つながるわたし広がるわたし」などのページを設け、児童が道徳科のねらいについて理解できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和6年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の
調査研究について（報告）

さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 5年 7月 19日

第9地区教科用図書調査委員会	特別支援	小委員会
----------------	------	------

委員長 落 合 利 広 

委員 大 和 明 子

委員 石 田 篤 司

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小学校	種 目	特別支援	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（湧別町立開盛小学校 校長 落合利広） ○調査研究内容の確認 (1)「教科書採択参考資料」を参考に、作業の概要と手順を確認した。 (2)担当する教科書を分担した。 ・手と手をつないで、音の出るとけいえほんいまなんじ？、うたってたたこう！わくわくりズムあそびどうようえほん、てあそびうた&ゆびあそびゲームタブレット、おとがなるしかけえほんはじめてのオーケストラ、…大和委員 ・ふわふわちゃんおでかけこんにちは、みんなのきもちがわかるかな？おもいやりの絵本, さわって学べる算数図鑑、親子で楽しんで、驚くほど身につく！こどもせいかつ百科…落合委員 ○今後の調査研究日程の確認 (1)第2回までに「教科書採択資料」を参考に、各自調査研究し調査結果を持ち寄ることにした。 <第2回調査委員会> ○各委員会から調査結果の報告と研究協議 (1)「取扱内容」等について協議 3名の委員で図書について調査研究の結果を交流し、内容の程度、配列、記述量、使用上の配慮などの協議を行った。 (2)報告書の確認と精査 報告書の内容を委員で共有し、必要な修正を加えた。 ○今後の調査研究日程の確認 (1)第3回までに、分担を入れ替えた教科書について、調査項目を設定し、項目の内容について引き続き調査をする。 <第3回調査委員会> ○調査報告読み原稿の最終確認 (1)全員で、視点に沿った記述となっているかを確認した。 ○各委員からの教科書調査について (1)各教科書の内容について、「文字、フリガナ」「自立活動の視点」「他教科との関連性」「適正年齢」「主体的、対話的で深い学び」について調査項目として協議した。				
少数意見及び参考となる事項	すべての図書に関して3名の委員で議論したが、見解が大きく異なることはなかった。調査研究をもとに共通理解を形成しながら報告書を作成した。				

教 科 名		国 語			
書 名	発行者	取 扱 内 容 内容の程度・排列・分量等 使 用 上 の 配 慮 等	障 害 の 種 類	発 達 の 段 階	備 考
	著者名				
	価 格				
ふわふわちゃん おでかけこんにちは	教育画劇	登場人物が動物に挨拶をする際の「こんにち…」の続きがページをめくった先に表示されており、子どもが次のページを楽しみにしたり、動物の鳴き声などを模倣したりできるように構成されている。 ページをめくると登場人物の表情や動きが変化するなど、子どもが場面の展開を理解しやすいよう配慮されている。 挿絵の背景を白を基調に簡素にすることで、子どもがイラストに注目しやすいよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	A	体裁は 18.0×18.0cm で、ページ数は 28 ページである。 表紙は堅ろうである。 平成 28 年（2016 年）発行
	こが ようこ				
	8 5 0				
手と手をつないで	B L 出版	登場人物が旅をする展開の中で、朝昼晩や四季の経過などの大体を捉えることができるように構成されている。 「のばしてごらん。」「あるいていこう。」「つくろうね。」など語りかけられるような表現により子どものイメージが広がるよう配慮されている。 コラージュで作られた色彩豊かな挿絵にはいろいろな生き物や植物が描かれており、子どもが興味をもって読むことができるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	B	体裁は 25.6×25.6cm で、ページ数は 32 ページである。 表紙は堅ろうである。 平成 28 年（2016 年）発行
	マーク・スペアリング				
	1, 6 0 0				
教 科 名		社 会			
みんなのきもちが わかるかな？ おもいやりの絵本	金の星社	家族や友達と関わる場面や公共の場において、相手や他者の気持ちを考えた行動について学習できるよう構成されている。 様々な場面や行動について相手がどのような気持ちになるかが例示されており、子どもが相手の気持ちを想像できるよう配慮されている。 場面や表情が分かりやすいイラストで示されており、子どもが相手の気持ちや場面を視覚的に理解できるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁は 23.6×23.5cm で、ページ数は 48 ページである。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 平成 29 年（2017 年）発行
	W I L L こども 知育研究所				
	1, 7 0 0				

教 科 名		算 数 ・ 数 学			
書 名	発行者	取 扱 内 容 内容の程度・排列・分量等 使 用 上 の 配 慮 等	障 害 の 種 類	発 達 の 段 階	備 考
	著者名				
	価 格				
音の出るとけいえほん いまなんじ？	金の星社	分刻みで動かすことができるアナログ時計を操作することにより、時間の単位（時、分）について理解することができるよう構成されている。 様々な生活場面に即した時刻を当てるクイズが設定されており、子どもが自身の生活と結び付けやすいよう配慮されている。 ボタンを押すことにより、音声で時刻を教えてくれたり、クイズを出題したりするなど、興味をもって取り組めるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	B	体裁は 15.6×15.6cm で、ページ数は 15 ページである。 紙質は厚手で堅ろうである。 平成 26 年（2014 年）発行
	森のくじら				
	2, 2 0 0				
さわって学べる 算数図鑑	学研プラス	数と計算の理解に必要な、数と数量の表示や図形の種類などを分かりやすく学べるよう構成されている。 足し算、掛け算、分数、図形などをいろいろな種類の仕掛けを使って直感的に理解できるよう配慮されている。 巻末はクイズになっていて、自分で選択して、指で操作して答えを導き出す形なので、意欲的に取り組めるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁は 28.5×22.4 cmで、ページ数は 19 ページである。 表紙は厚手で堅ろうである。 中紙も厚い。 平成 27 年（2015 年）発行
	土屋 徹				
	2, 2 0 0				
教 科 名		音 楽			
うたってたたこう！ わくわくりズムあそび どうようえほん	金の星社	全 1 4 曲の童謡について、伴奏に合わせてカスタネットや鈴の音などを鳴らせることができるよう構成されている。 見開きを使い、曲をテーマにした挿絵が描かれており、歌詞は平仮名で書かれるなど配慮されている。 大きなボタンで押しやすくなっており、曲に合わせたサウンドが流れたり、同時に押すことで秘密のサウンドが流れたりし、子どもが楽しめるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	A	体裁は 19.5×21.8cm で、ページ数は 31 ページである。 表紙はビニール装丁で堅ろうである。 平成 29 年（2017 年）発行
	たかい よしかず				
	2, 2 0 0				

教 科 名		音 楽			
書 名	発行者	取 扱 内 容 内容の程度・排列・分量等 使 用 上 の 配 慮 等	障 害 の 種 類	発 達 の 段 階	備 考
	著者名				
	価 格				
てあそびうた& ゆびあそびゲーム タブレット	朝日新聞出版	子どもになじみ深い曲が全30曲（英語の歌が5曲）掲載されており、曲に合わせて手や指などを使って遊べるよう構成されている。 曲に合わせた手や指遊びの仕方が示されており、体を使って曲を楽しめるよう配慮されている。 じゃんけんや旗揚げゲームなど、ボタンを押して遊ぶゲームが6種類入っており、子どもが簡単な遊びを理解できるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	B	体裁は25.0×19.0cmで、ページ数は36ページである。 表紙はビニール装丁で堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
	瀧 靖之				
	2, 200				
おとがなる しかけえほん はじめての オーケストラ	大日本絵画	「ハンガリー舞曲第5番」を演奏する管楽器や打楽器等の音色を実際に聞き比べたり、音合わせの説明から始めたりすることで音楽を形づくっている要素を理解できるよう構成されている。 説明は全て平仮名で書かれており、楽器には平仮名の振り仮名があり、子どもの読みやすさに配慮している。 指で軽く触れるだけで音になる仕掛けは扱いやすく、最後は二次元コードを読み取ることで動画による演奏を聴くことができ、子どもの学習意欲が高まるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	B	体裁は21.6×21.7cmで、ページ数は10ページである。 表紙、中紙ともに厚紙で堅ろうである。 平成29年（2017年）発行
	サン・タブリン				
	2, 000				
教 科 名		家庭	技術・家庭	職業・家庭	
親子で楽しんで 驚くほど身につく！ こども生活百科	講談社	食事や排泄、衣服の着脱、簡単な料理など、様々な日常生活場面の行動の仕方について学習できるよう構成されている。 子どもの実態や興味・関心に応じて取り扱う題材を選べるよう、様々な場面の生活動作が示されるなど配慮されている。 日常生活場面での行動が簡潔なイラストで順番に示されており、子どもが視覚的に理解できるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁は、24×19cmで、ページ数は、128ページである。 表紙はビニール装丁である。 平成27年（2015年）発行
	田中 昌子				
	1, 800				